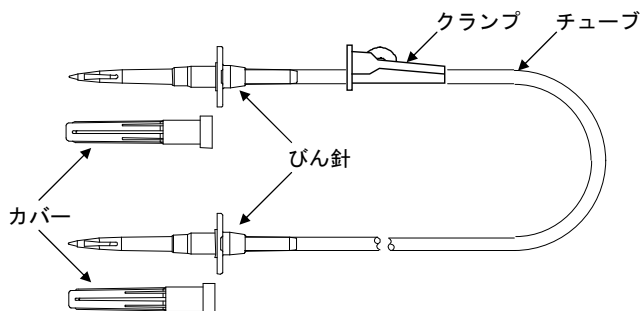


機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 輸液用連結管 70399000
JMS 連結管

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】
〈構成(代表例)〉



* 本品には以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
チューブ	ポリ塩化ビニル
びん針	ポリカーボネート

- ・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤：トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- ・上記構成と当該製品の構成が異なる場合がある。

〈仕様〉

項目	性能
気密性	50kPa
引張強度	15N

【使用目的又は効果】

チューブの両端に薬液瓶又は他の器具との接続部をもつ連結管をいう。輸液で薬液瓶内の液を移すために用いる。

*【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. クランプが付いている連結管の場合は、クランプを閉じます。
3. いずれか一つの輸液容器に輸液セットを取り付けます。
4. 輸液容器の所定の位置にびん針を垂直に刺通し、輸液セットを取り付けた輸液容器から順次連結します。
5. ガートルスタンドのハンガーに、輸液容器を同じ高さになるようにつるし、最後の輸液容器の所定の位置にエア針を垂直に刺通します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 本品は輸液容器のゴム栓に対し、斜めに刺通したり、刺通中に横方向への力を加えないこと。[びん針の曲がり、破損が生じるおそれがある。]
2. 本品の段差部分まで輸液容器に刺通すること。[刺通が不十分な場合、使用中の外れ、チューブ内への空気混入等のおそれがある。]
3. 鉗子又はクランプはチューブと硬質部品の接合部では操作しないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れるおそれがある。]
- *4. チューブを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端で閉塞すると、チューブが破損し、液漏れや空気混入

等が生じるおそれがある。]

5. チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないこと。[チューブ接合部の破損、外れが生じるおそれがある。]

*【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じるおそれがある。]
2. チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じるおそれがある。]
- *3. ソフトバッグを連結して投与を行わないこと。[バッグ内の空気が混入するおそれがある。]

*〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、曲がり、外れ、破損

*【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス
電話番号：082-243-5806